

「ピンクリボン運動」推進協力について

～SENBATSU の新たな取り組み～

国内のトッププレーヤーを輩出してきたこの大会も 30 回目を迎えました。この記念すべき 30 回大会を契機に、全国のテニス部に所属する約 11 万人の高校生の皆さんのテニス技術向上や精神を磨くと同時に、日本の社会に向けて影響力を持つ大会に育てたいと考えております。

そこで本大会から、家族や大切な人に対して身近に行うことができる社会貢献活動という観点に基づき、「ピンクリボン運動」への支援をスタートさせました。「ピンクリボン」は、乳がんの早期発見・早期治療の大切さを伝えるシンボルマークのことです。「日本人女性の 20 人に 1 人」が乳がんになるという調査結果が出ており、女性がかかりやすいがんのトップになっています。その多くが 30 代から 50 代であり、まさに選手の皆さんの保護者の世代にも当てはまるのではないのでしょうか。乳がんは早期に発見されれば 95% が治癒すると言われています。早期検診の大切さを家族や大切な人に伝えて下さい。その一歩が周りの大切な人達の幸せを最大にし、悲しみを最小にすることにつながります。そして、その小さな一歩は、全国の仲間たちにピンクリボン運動を発信していくうえで大きな一歩になることなのでしょう。

初年度活動の一環として、ピンクリボンでデザインされた T シャツを作成しました。ご購入いただいた収益の一部は関係機関に寄付する予定です。どうぞ「ピンクリボン運動」へのご理解、ご協力をお願いいたします。

2008 年 3 月

全国選抜高校テニス大会実行委員会

本大会統一ロゴマーク

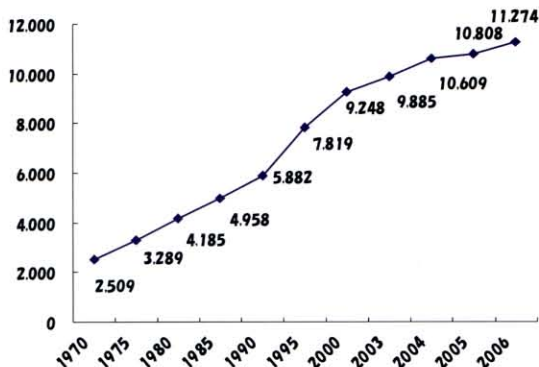


ご存知ですか？ 乳がんのこと……

早期発見で明るい未来を

SENBATSU はピンクリボン運動を応援します

乳がん死亡数の年次推移



乳がんの急増と減らない乳がん死

- 女性のがん第 1 位の 17% 1975 年より約 3.5 倍増 (結腸と直腸を合わせた大腸は 1 位)
- 日本女性の 20 人に 1 人が毎年新たに乳がんと診断されています。
- 40 代が最も高く、30 歳以降の年齢階級で増加。日本は欧米に比べ、若い年代が乳がんになっています。
- 2005 年以降一年間で 1 万人以上が乳がんで亡くなっています。過去 15 年で約 2 倍増